

大妻女子大学共生社会文化研究所・ジョブコーチスキルアップ研修企画委員会  
《本研修の趣旨とお願い（ジョブコーチスキルアップ研修 実施要領）》

## 1. 本研修会の趣旨

- ・本研修は、大妻女子大学共生社会文化研究所の助成で企画・運営されるモデル研修プログラムです。
- ・このモデル研修プログラムを通して、就労支援に関わる人（経験豊富な人や着任したばかりの人、あるいは中堅どころの人）が経験や所属組織の枠を超えて対等の立場で学び合う研修プログラムを作りたいと考えています。
- ・モデル研修プログラムの性質上、参加者の皆さんには、事前アンケートと事後アンケートへのご協力をお願いいたします。
- ・また研修ニーズや支援業務での課題を把握したいので、参加者の皆さんが困っている、あるいは難しさを感じている事例について、事例提供をお願いできたらと思います（提供いただく内容については、「事例提供シート」をご参照ください）。研修会当日は、提供事例のうち、1、2ケースについて、事例検討します。

## 2. 研修の目的とねらい

- (1) 事例検討を通して自分の支援と深く向き合い、一人ひとりがグループの一員として、一体となって学び、支え合う経験をします。
- (2) 就労支援業務（事例提出シート「就労支援業務項目」）のうち、職場で行われる支援業務について、参加者の皆さんが課題に感じている内容について具体的な支援方法や支援技術を学びます。
- (3) 研修後、参加者の皆さんが学んだ内容を持ち帰り、所属する支援チームにおいて、支援上の課題を共有し、より適切な支援方法や支援技術について検討できるように後押しします。

## 3. 研修のゴール

- (1) 着任したばかりの方々には：就労支援業務において、課題が起こりやすいプロセスや支援業務について、新たな視点や支援のポイントを学びます。
- (2) 中堅・経験豊富なの方々には：事例提供者とのやり取りを通じて、初任レベルの支援者が課題を感じやすいプロセスや支援業務を知り、どのようなやり取りが解決の糸口や新たな視点の提供につながるのかを学びます。

## 4. 対象

- ・障害者雇用事業所、職場適応援助者、障害者就業・生活支援センターや就労移行支援事業所、就労継続支援A型・B型の職員など、障害のある人が働く職場での支援に携わっている方
- ・経験年数は問いませんが、グループ構成のバランスにより、選考させていただく場合がございます。予めご了承ください。

## 5. 参加申し込み

- ・「参加申込書（右のQRコード）」「事例提供シート」にご記入の上、以下のアドレスまで送信してください。

大妻女子大学共生社会文化研究所「ジョブコーチスキルアップ研修」 柴田 宛

[juri.shibata@otsuma.ac.jp](mailto:juri.shibata@otsuma.ac.jp)



参加申込書